



2022 年 11 月 1 日

G20 サミット各国首脳閣下

内閣総理大臣 岸田文雄 殿

外務大臣 林 芳正 殿

G20 サミット加盟国首脳へ壊滅的な食料危機に対する資金拠出を求める共同書簡

インドネシアで開催される 20 カ国・地域首脳会議(G20 サミット)は、世界が飢餓の危機に直面している中で準備が進められています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)後の経済回復、今後の新興感染症への十分な備えと対応のためのグローバル・ヘルス・アーキテクチャー(国際保健の枠組み)の構築、持続可能なエネルギーへの移行、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進などの重要課題の議論が行われる一方で、現在世界 45 カ国の約 5000 万人が飢餓の淵に立たされていることを忘れてはなりません。

過去 20 カ月にわたる警告に対する国際社会からの貢献は歓迎に値するものではありませんが、飢餓に対する効果的な取り組みは、遅れがちで、資金は大幅に不足しています。

飢餓と死の危険に加え、何百万人もの子どもたちが、栄養不良により生涯続く負の影響を被りかねないリスクに直面しています。とりわけ女の子たちへの影響は甚大です。絶望にかられた家族が生き残るための手段として取る、女の子たちに対する性的搾取や虐待、早すぎる強制された結婚の割合が劇的に上昇するという負の連鎖が発生しています。結婚した女の子は、多くの場合、配偶者からの生涯にわたる暴力や、望まない妊娠、中途退学に直面し、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)に就くことがほとんど不可能になるのです。その結果、ジェンダー不平等、貧困、差別、機会の欠如がさらに深刻化します。

このような状況は飢餓の影響を受けた人々や女の子たちを失望させています。

G20 がこれまで国際的な取り組みにおいて発揮してきたリーダーシップを認識したうえで、プラン・インターナショナルは、各国首脳の皆様に、今すぐ女の子たちの命を救い、レジリエンス(強靭さ)を高め、飢餓の直接的な影響だけでなく、根本的な要因に対処するために、以下の行動を求めます。

1. 数百万人の命を救うために、早急な緊急資金の拠出を求めます。

5000 万人が飢餓に陥る最悪の事態を防ぎ、レジリエンス(強靭さ)を確保するには、早急に 222 億ドルが必要です。大勢の人命を救うためには、ジェンダーに対応した、No regrets policy(後悔のない対策)を基準に即時に資金を拠出する必要があります。すべてのドナーは、他の差し迫った人道的ニーズへの対応から資源を転用することなく、今すぐ完全かつ公正な資金を提供する必要があります。

2. 女性と子ども、特に女の子の具体的なニーズを優先すること。

これには、子どもや若者が学校に通えるようにするための学校給食の提供や、早すぎる結婚(児童婚)など子どもの権利侵害に対処するための保護プログラムが含まれます。プラン・インターナショナルは、食料不安を解消するためのあらゆる対策が、ジェンダーや年齢、障害を考慮したものとなることを求めます。

3. 紛争、経済危機、気候変動など、飢餓の危機の根本的な要因に対処するための取り組みを強化すること。

プラン・インターナショナルは、世界中の紛争を予防・終結させるための政治的リーダーシップの強化、経済的不平等からの女の子や女性の保護の強化、そして飢餓の危機にある国々における気候変動対策のための資金拠出体制の構築を含め、現在および将来の気候危機やストレスに適応し、耐性を強化するための支援を行わなければならないと考えます。

4. 食料不安の原因となるショックやストレスに直面した際に、予測し、適応し、変革するためのレジリエンス(強靭さ)を強化すること。

これは、予測行動、回復力、適応、早期警戒システム構築に向け内外の資金調達を増やすことを意味します。プラン・インターナショナルは、女の子と若者を巻き込み、すべての取り組みがジェンダー・トランスフォーマティブかつ地域主導で、子どもを中心とすることを保証するよう求めます。

5. 飢餓の危機への取り組みへのアカウンタビリティを確保すること。

これには、資金提供の約束と支出について明確かつ透明性のある報告、現地パートナーの支援、対応を形成するための若者を含む被災者との協議などが含まれます。

今、国際社会は、命を救い、女の子と若い女性のより良い現在と未来に投資するためには行動しなければなりません。

インドネシア バリ島における G20 サミットは、飢餓が女の子に与える最も壊滅的な影響を緩和し、回避するための決定的な行動を起こす極めて重要な機会です。プラン・インターナショナルは、各国のこれまでの努力を評価するとともに、何百万人もの子どもたちや若者の生活に真の変化をもたらすであろうこの機会を捉え、世界的な飢餓危機に対し 2023 年までの効果的かつ迅速な対応を強く求めます。



Stephen Omollo
CEO
Plan International



Dini Widiastuti
Executive Director
Plan International Indonesia



Susanne Legena
CEO
Plan International Australia

Cynthia Betti
Assinado de forma digital por Cynthia Betti
Dados: 2022.10.25 09:21:14 -03'00'

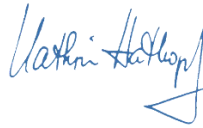
Cynthia Betti
Executive Director
Plan International Brazil



Lindsay Glassco
CEO
Plan International Canada



Anne Bideau
National Director
Plan International France



Kathrin Hartkopf
National Director
Plan International Germany



Mohammed Asif
Executive Director
Plan International India



Concha López
President Plan International
Italy
CEO Plan International
Spain



Yuichi Tanada
CEO
Plan International Japan



Sangjoo Lee
President & CEO
Plan International Republic
of Korea



Dirk Glas
Program Manager and
Country Rep for Mexico
Plan International ROA



Rose Caldwell
CEO
Plan International United
Kingdom



Mustafa Kudrati
President & CEO
Plan International United
States



Serap Altinisik
Head of EU Office
Plan International EU Liaison
Office Brussels

Other supporting offices



Ossi Heinänen
National Director
Plan International Finland
Suomi



Charles Usie
Country Director
Plan International Nigeria



Kari Helene Partapuoli
National Director
Plan International Norway